

# 日本地球電気磁気学会会報(51号)

1971年11月5日

日本地球電気磁気学会  
連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16

郵便番号 113

東京大学理学部地球物理学教室内

電話 03-812-2111 内線 6476

振替 東京 4860番

## 第50回総会報告

昭和46年10月14日 15時-16時

於 松本市厚生文化会館 1階ホール

森会員の開会の辞に続いて松浦会員が福島委員長より総会議長に指命された。

1. 鷺坂大会委員長の歓迎の挨拶があった。
2. 報告

庶務(玉尾): 新入会員(別記)の紹介, 国内会員総数は373名。

会計(小嶋): 現状報告, 会費滞納者は学会財政健全化に協力して欲しい。

会誌(小嶋): 会誌出版状況ならびに東大出版会への移行の進展状態が報告された。

3. 田中館賞

福島委員長より堂面会員に次の論文名で第54号田中館賞が授与され, 審査報告が行なわれた。

堂面春雄

「圧残留磁気現象に関する実験的発見」

4. 福島委員長の挨拶が行なわれ、続いて永田会員より国際状況の報告があった。来年度にはIMS及びGDP両国際特別事業計画の具体的協議が行なわれる予定があり、1973年9月には京都でIAGAのGeneral Scientific Assemblyが開催される。
5. 次回総会、講演会は学会創立25周年にあたるので第1回開催地としての東京大学ではどうかとの近藤運営委員の提案があり、これに対して永田会員がお引き受けするとのことで東京大学に決定した。
6. 最後に関戸評議員より信州大学の方々に対する謝辞が述べられ全員の拍手の下に閉会した。

#### 新 入 会 員

松 村 正 三 (東大宇宙研)  
渡 辺 隆 (東大理)  
島 倉 信 (名大空電研)  
巻 田 和 男 (東大理)  
高 橋 隆 男 (東海大工)

Mr. S. J. Beske (Western Washington State College)

Mr. Kurt G. Borgne (Royal Institute of Technology)

Mr. H. P. Johnson (Univ. of Washington)

Mr. J. M. Stanley (Univ. of New England)

Mr. S. M. Radicella (Univ of Illinois)

## 第 50 回総会ならびに講演会後記

今回の学会は信州の山並みに囲まれた松本市で行なわれました。松本城に近い厚生文化会館で10月11日から14日迄4日間、朝9時から夕方7時近くまで、ぎっしりと詰った日程で熱心な講演と活発な討論がなされました。此の間、信州大学側の方々の細心の御準備と御努力によって非常に円滑に進行し、特に講演会場の音響効果、スライド等は討論を盛り上げる上に非常に有益なものでした。今回の特別講演は大林及び力武会員から次の様な演題で、夫々専門外の人達にも理解と興味を持たせるに充分な解説が行なわれました。

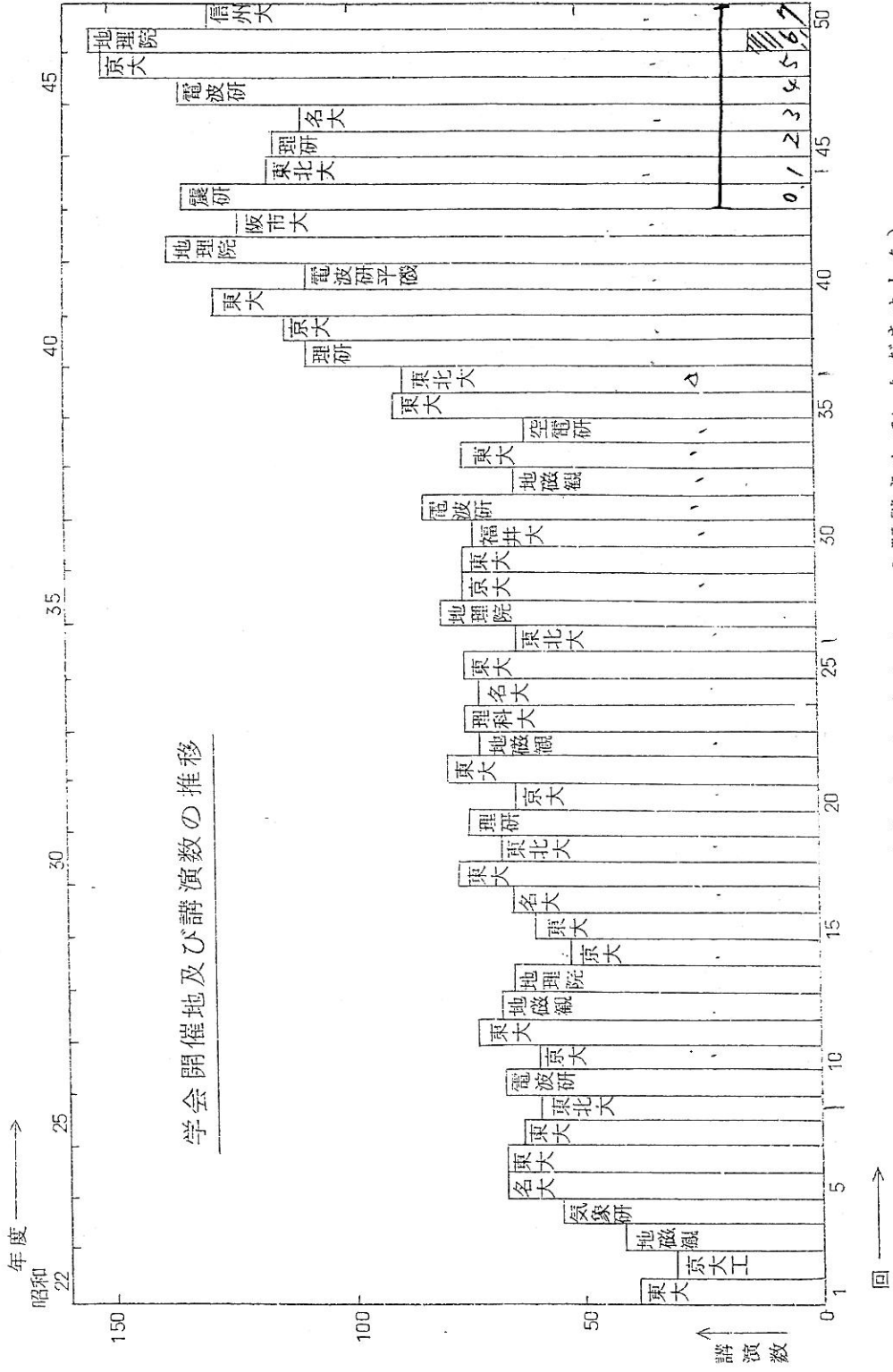
大 林 辰 蔵 「地球磁気圏の研究」

力 武 常 次 「地震予知研究の最近の進歩」

大林会員は最近の磁気圏研究の進歩と問題点を話され、特にエネルギー収支の立場からIMS国際協力事業の下で日本で行なわれる予定の特別研究の問題点を述べられました。力武会員は地震予知につながる種々の観測結果を示されながら、地震予知に占める統計学的意義を強調されました。

## そ の 他

J.G.G. Vol. 23. No.1は、印刷所の都合により、お手許にお届けするのが大変遅くなりました。No.2は唯今印刷を終え間もなくお手許に届ける予定。以下No.3, No.4も刊行を急ぎたい所存です。



(信州大学側で準備され、会場に掲示されたグラフを転用させていただきました)。